

報道関係者各位

2017年1月

## 「日本ダウン症会議」の発足について

～新しいダウン症像を求め 当事者団体と専門家の垣根を越えて～

公益財団法人 日本ダウン症協会

私たち公益財団法人日本ダウン協会（JDS）は、任意団体としての発足から約20年を数えました。ダウン症のある本人や家族による当事者団体として、これまでも各種のイベントや啓発活動などを行ってきました。報道関係の皆様にもご協力をいただき、感謝しております。

昨今、ダウン症（ダウン症候群）をとりまく社会的な環境は大きな変化を迎えております。

ダウン症がある方の中では、芸術、音楽、スポーツなどさまざまな分野で活躍をする方が次々と現れてくる一方で、出生前検査・診断が広がりその議論の矢面に立つこともあり、福祉においても教育においてもかつてない転機を迎えています。

こうした状況の中、国際的には、「世界ダウン症連合（DSi）」が毎年共通のスローガンを決めて各国に対して政策提言を行うなど、社会に向けた積極的な活動を行っています。

しかし、これまでの日本ではダウン症に関する医療・教育・福祉などの各分野で横断的に情報を共有する仕組みがなく、当事者団体である日本ダウン症協会による単体の活動には限界も感じ、広く専門家の協力を得る必要性を痛感しております。

このような中、当協会並びに専門家団体である日本ダウン症療育研究会、日本発達障害学会では共通の認識を持って、ダウン症に関する啓発、社会に向けた発信、ならびに国際的な活動への参画を目的とした「日本ダウン症会議」を発足させることにいたしました。11月には初の大会を開催する予定です。

つきましては、以下の日程で記者会見を開かせていただき、設立の趣旨や参加団体、今後の活動方針について、ご紹介をさせていただきます。報道関係者の皆様におかれましては、どうかご出席いただきたく、お願い申し上げます。

●日時 1月31日（火曜） 午後4時から 厚生労働省記者クラブ内会見室

●出席者 ・公益財団法人日本ダウン症協会 玉井邦夫代表理事

（大正大学心理社会学部教授 ダウン症がある長男を含む4人の息子の父）

・ダウン症があるタレント あべけん太

（詳しいプロフィールは会見の場にて紹介させていただきます）

●会見内容 ・日本ダウン症会議の設立趣旨、概要について説明

・11月に開催予定の「第1回日本ダウン症会議（仮題）」の紹介

※この件に関する問い合わせは日本ダウン症協会理事・水戸川真由美（日本ダウン症会議広報担当）までお願いいたします。 mitomito-55@m9.dion.ne.jp 携帯：09036965753